

# コムラサキ



<b>区分</b>	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
<b>分布</b>	北海道・本州・四国・九州に分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	主な生息地は河川敷に多く生育するヤナギ類の林であり、公園内樹木や街路樹として植えられたヤナギ類を利用することもある。幼虫はヤナギ類の葉っぱを食べて成長し、成虫は主にヤナギ類やクヌギ、コナラなどの樹液を吸汁する。なお、コリヤナギおよびイヌコリヤナギの葉っぱは幼虫の餌にはならない。 <sup>(1) (2)</sup>
<b>配慮事項</b>	河川における生息状況を把握した上で、伐採箇所を決定する、改変箇所へヤナギ類を植樹するなどの配慮が考えられる。 <sup>(1)</sup>

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

(2) フィールドガイド日本のチョウ、日本チョウ類保全協会、2012

# ウミホソチビゴミムシ



<b>区分</b>	環境省レッドリスト:準絶滅危惧
<b>分布</b>	本州西部・四国・九州・奄美大島に分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	比較的大きな河川の河口部に生息し、砂混じりの泥質地を好む。干潮時はよく飛翔し、満潮時には河床の小石下などに潜んで動かない。 <sup>(1)</sup>
<b>配慮事項</b>	河川改修工事により生息環境となる河岸泥質地が大きく変化する場合は、生息環境の可能な範囲の維持または新たな生息環境の創出などの配慮が考えられる。 <sup>(1)</sup>

(1) レッドデータブック 2014ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー 5 昆虫類、環境省、2015



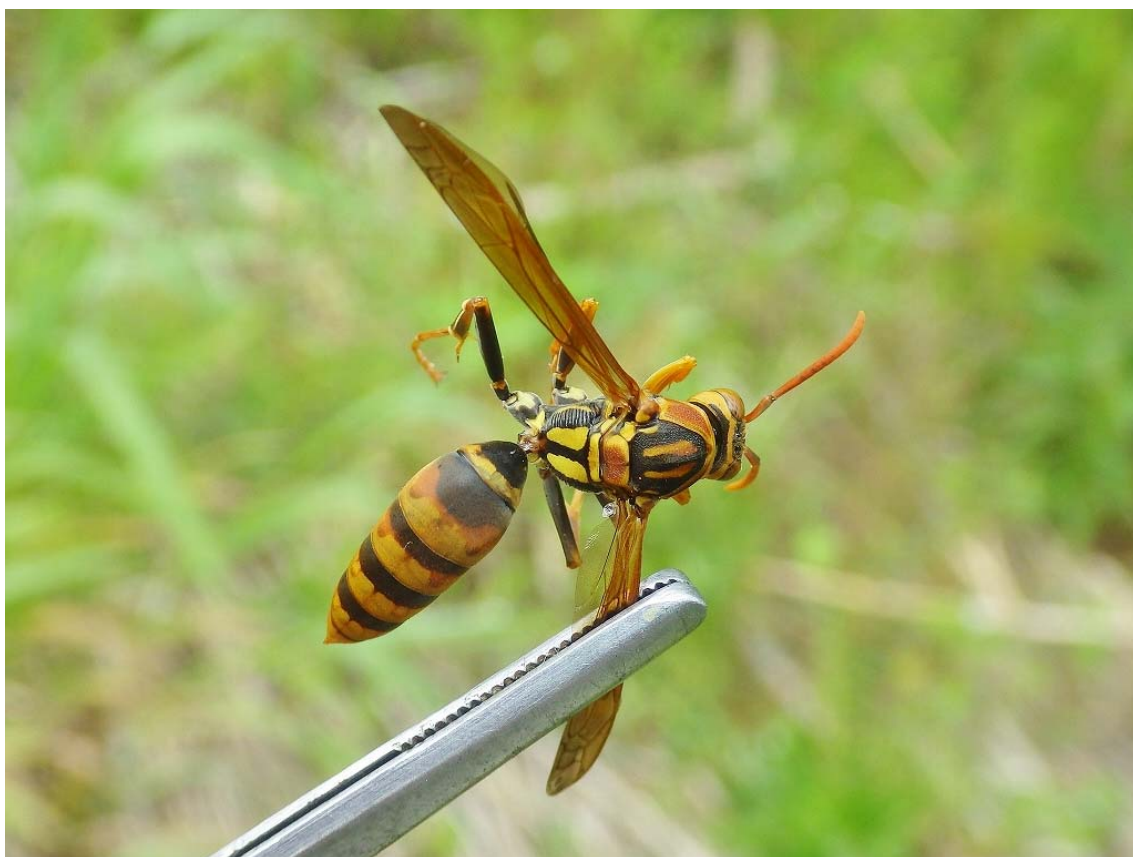
# コハンミョウ



<b>区分</b>	宮崎県版レッドリスト:準絶滅危惧
<b>分布</b>	本州・四国・九州・トカラ諸島・奄美諸島・琉球諸島に分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	河原などの湿った砂地に生息し、成虫は 5~8 月にみられる。 <sup>(1)</sup>
<b>配慮事項</b>	河川改修工事により生息環境となる河岸湿地が大きく変化する場合は、生息環境の可能な範囲の維持または新たな生息環境の創出などの配慮が考えられる。

(1) 新訂原色昆虫大図鑑 第Ⅱ巻、森本桂、2007

# ヤマトアシナガバチ



区分	環境省レッドリスト:情報不足
分布	本州・四国・九州のほか、対馬・大隅諸島に分布する。 <sup>(3)</sup>
生態	平地や低山地に生息し、草本の葉の裏や樹木の細い枝、時には人家の軒下や壁にも営巣する。女王バチや働きバチ、オスバチで1つの巣を構成する社会性昆虫類で、5～9月頃までみられる。10月～翌春まで女王バチは越冬する。 <sup>(1)(2)(3)</sup>

(1) 日本の新社会性ハチ、高見澤今朝雄、2005

(2) レッドデータブック 2014ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー 5 昆虫類、環境省、2015

(3) 日本産有剣ハチ類図鑑、寺山守・須田博久、2016